

第4回 高千穂中学校移転新築検討委員会会議録 (要旨)

日時：令和6年1月26日(金) 午後3時00分 開会

場所：高千穂町役場 4階 大会議室

委員：出席者10名、欠席者5名

出席者	富高康雄委員、甲斐勝朗委員、佐藤さつき委員、佐藤幸男委員、金丸智弘委員、安在直委員、甲斐烈委員、富高徹雄委員、安在優委員、佐藤有美委員
欠席者	喜田鉞子委員、板倉哲男委員、榎本英雄委員、甲斐英生委員、佐藤公彦委員

事務局：出席者6名 オブザーバー：出席者4名

事務局	教育委員会：戸敷教育長、林次長、佐藤課長補佐、田尻学校教育係主任主事、建設課：飯干まちづくり推進係長、黒木稜平(建築住宅係)技師
オブザーバー	有藤総務課長、戸高総合政策課長、甲斐建設課長、佐藤農林振興課長

1. 開会 【進行：佐藤課長補佐(委員長挨拶、教育長挨拶まで)】

2. 委員長あいさつ

・新年の能登地震、報道で知る被害の大きさに胸が痛む。高千穂中学校の移転新築について災害時の避難場所機能や防災を意識したところ。本日の議題「基本構想・基本計画案」へのご意見をお願いします。

3. 教育長あいさつ

・第3回検討委員会までは、候補地選定を中心に検討頂いた。第4回からは、学校施設の目指す姿や基本計画の考え方等、具体的な協議をお願いします。能登地震では大きな被害が報告され、本県に関係する南海トラフでは震度6強が3分続くといわれている。建物の耐震や避難所機能等を加えて考えることも必要だが、学校は教育施設である。まずは、教育施設としての充実が優先。本日の協議、よろしくをお願いします。

4. 協議事項 【進行：富高委員長】

(1) 高千穂中学校移転新築基本構想・基本計画(案)について〔資料1〕【説明：林次長】

①第1章 基本構想・基本計画策定の背景と目的〔資料1〕に沿って説明。

・学校施設の現状や社会情勢の変化等を受けて上位計画・関連計画に基づく施設を備えた施設を整備するため、地域住民の代表者、学校関係者、PTA役員、幼保小保護者代表等による高千穂中学校新築移転検討委員会を設置し検討を行っていく。

《質疑なし》

②第2章 基本構想〔資料1〕に沿って説明。

・社会情勢の変化や上位計画、関連計画、学校施設の現状から本町の学校建設における学校施設の目指すべき姿や施設整備の方向性を示した。

- ・高千穂中学校の現状（沿革、老朽化、耐震診断結果、校地校舎平面図、急傾斜地警戒区域図）、児童生徒数の現状及び将来推計を記載。
- ・上位計画、関連計画の学校教育に関連する部分を掲載。「第6次高千穂町総合長期計画（令和3年3月策定）」、「高千穂町公共施設等管理計画 改訂版（令和4年3月）」、「教育施策（令和5年度）」。
- ・学校施設のあるべき姿は、安全性、快適性、学習活動への適応性、環境への適応性、地域の拠点化に配慮した環境や空間等が整備された学校建設を目指す。
- ・移転先候補地の概要及び選定について、候補地比較表、評価シート結果、高千穂温泉跡地を候補地として選定したことを記載。

≪質疑なし≫

③第3章 基本計画〔資料1〕に沿って説明。

- ・学校施設の目指すべき姿や学校施設整備の方向性に基づき、施設規模、配置計画、諸室計画、構造企画、設備計画、防犯計画に関する基本的な考えを示した。
- ・諸室は、現段階で想定されるもの。設計段階に入り、検討する。
- ・防犯計画にある見守りカメラ（防犯カメラ）等の設置が通学路のみ記載となっているが、敷地内、施設内の設置も有効なことから、追記修正する。

④第4章 建設スケジュール〔資料1〕に沿って説明。

⑤第5章 資料

- ・高千穂中学校移転新築検討委員会設置要綱、委員名簿を記載

【会議発言内容】

発言者	内容
委員	・諸室計画で屋外施設に備蓄倉庫あるが、災害用トイレなど、備蓄について明記する必要はないか、備蓄場所は屋外を想定ということか。
事務局	・木城町の木城学園は校舎内に備蓄用の部屋があった。今回は屋外で備蓄倉庫と記載しているが、細かいことは決めていない。災害用トイレ（マンホールトイレ）を木城学園でも災害に備え確保している。避難所機能を果たすとなれば、備蓄や中学校までの避難道路についても計画の一つとして進める必要がある。細かいことはこれからだが、十分想定している。
委員	・建設スケジュールで準備期間に用地交渉、法規制調査、手続き等はあるが、解体について、計画に記載がない。解体がまず必要と考えるが、いつごろの予定か。

発言者	内容
事務局	・現段階では、候補地を選定したところ。それを受けて町長が最終的には移転先を決定する。今年度、移転先が決定されれば、令和6年度予算に解体設計予算の計上を考えている。
委員	・災害時の避難場所として想定の考えだが、BCP策定時に中心的な役割を発電機が果たすとされるが、導入計画や考えは。
オブザーバー	・今は導入する備品や機能など具体的なものはない。設計段階で防災拠点施設等になれば、導入することになる。
委員	・高千穂温泉跡地に決定された場合、全施設が解体となるのか。
	・レストハウスの再利用等はなく、更地にするということか。
事務局	・今の考えでは、温泉館とレストハウスは解体を考えている。
委員長	・町が正式に場所を決定した後、具体的な配置計画等に入っていくことになる。「基本構想・基本計画」について今回提案で概ねよいか。
委員	・異議なし。
委員長	・提案に対し、意見や一部修正があった。事務局で加筆修正し、委員へ後日提示するようお願いする。

(2) その他について

【会議発言内容】

発言者	内容
委員	・温水プールについては、利活用するのか。町民のプールでもあるが、使い方はどうなるのか。
事務局	・利活用するには、大規模改修が必要。修繕や使い方など総合的に今後検討していく。
事務局	・学校としては、夏に行われている水泳授業が、温水プールであれば、夏に限定せず、学校の教育課程が柔軟に変更できる。

発言者	内容
委員	<p>・水泳の授業は、プールが屋外にあるため、夏の授業が当たり前になっているが、屋内であれば、教育課程の編成は組みやすくなり、子どもらにとっても良い。教育課程編成を考えると可能な限り再利用が良いと思う。現在、小学校が温水プールを利用している。学校の町施設利用があっても良いのでは。</p>
事務局	<p>・地球温暖化に配慮した建物が今の流れ。熊本県木材利用優良施設コンクリートの資料を見ると、市役所、保育所、学校が新築木造建設されている。宮崎県では炭素貯蔵量認証1号に児湯の森林組合建築物が認定された。中学校建設にもカーボンニュートラルの方向性が出てくる。カーボンニュートラルに取り組んだ場合の補助制度について役場でも探すが、委員からも情報を頂けると助かる。協力をお願いする。</p>
委員	<p>・高千穂中学校移転後の校舎や体育館等学校施設はどうなるのか。</p> <p>・移転後の学校施設利活用は、これからの検討。</p> <p>・再利用の場合、急傾斜地警戒区域は避難所としては、無理では。日常における体育館の町民貸し出しは可能か。</p> <p>・体育館の耐震強度はある。</p> <p>・今後の検討になるが、町民への貸し出しの可能性はある。避難所としては難しい。改修も法規制があるので、長い期間の利活用は難しい。</p> <p>・非公式な話だが、以前、高千穂峡の駐車場、ソフトボール専用競技場という例えも。しかし、撤去や利活用については全く決まっていない。</p> <p>・グラウンドや体育館等、再利用できるならば、それが良いが、維持管理が伴う。町としても予算が伴う。</p>
事務局	
委員	
事務局	
オブザーバー	
事務局	
委員長	
委員	<p>・高千穂温泉跡地の場合、民有地がかかるのか。</p>
オブザーバー	<p>・高千穂温泉跡地の解体で取れる平場の状況と使用していない町有地を含めた土地面積に、校舎や体育館、グラウンド等の学校施設整備を計画する。足りなければ民有地の買収は必要。現段階ではっきりとは言えないが、今の敷地で広さは十分と考える。</p>

発言者	内容
オブザーバー	<ul style="list-style-type: none"> ・以前、教育長の話に合ったように、小学校が一緒になった場合を考えるのであれば、今のうちに買収できる土地があるのならば、今回の計画時に買収しておく、後々の計画は進めやすくはなる。
委員 オブザーバー	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の候補地には、町立病院職員駐車場が含まれている。職員駐車場についてはどうなるのか。新しく駐車場を探すのか、一緒に整備するのか。 ・現在、使用している町立病院職員駐車場は使用できなくなる。新たな駐車場が必要かどうかは検討が必要。外来駐車場に空きスペースができて始めている。今後、病院内で協議する。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席委員には、基本構想と基本計画案について、個別で確認をする。2月下旬に、第5回目を開く。今回の修正箇所等を加えた「高千穂中学校移転新築基本構想・基本計画」を委員の方々へ提示し、その後、町長に報告をする。

5. 閉会

- ・午後4時00分 閉会